

千葉職業能力開発短期大学校 能力開発セミナーのご案内

【12月～2024年2月】



(コピーしてご使用ください。)

令和 年 月 日

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点を記入し、それぞれの施設へFAXにてお申し込みください。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

- 千葉キャンパス FAX:043-248-5072(TEL:043-242-4192)
 成田キャンパス FAX:0476-22-4347(TEL:0476-22-4351)

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	ふりがな			業 種	
	事業所名 (個人の方は氏名)				
	所在地 (個人の方は住所)	〒			
	申込担当者名	部署課名:		氏 名:	
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、 B. 30~99人、 C. 100~299人、 D. 300~499人、 E. 500~999人、 F. 1,000人以上			
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※1)		2. 個人での受講		

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様へ(個人の方は申込者様へ)に送付いたします。
 なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	ふりがな 受講者名	生年月日(西暦) 及 び 性 別	就業状況(※2) (該当に○印)	短大 記入欄
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※3)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までに伺います。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

①ホームページ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他()

(連絡事項)

- コース開催の3週間前の時点で、受講申込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※3 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職歴経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
- (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
6. 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。
 希望する 希望しない

12

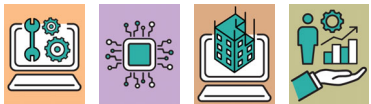
コース番号	C47	実践生産性改善	管理系
ねらい	生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短期期といった市場の要望に低コストで素早く対応するため、生産現場の見えない問題を見える化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 製造業の背景 2. 生産性向上のための現場運営の視点 3. 生産現場の評価と視点と改善方法 4. 生産現場の構築演習 5. 生産性改善実習 6. 改善性計画の立て方 7. まとめ
実施日	12/7(木)・8(金) 9:30~16:20		
対象者	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	15名	受講料	8,000円(税込)
日数/時間	2日間/延12時間	場 所	千葉キャンパス
使用機器等	パソコン、プロジェクター等		

コース番号	C50	安全確保のための現場改善手法	管理系
ねらい	グローバル化の加速で技術・技能の向上と安全の確保が絶対条件です。現場工程における本質の見える化と改善取組を「演習」を通して習得します。		<ol style="list-style-type: none"> 1. SEQDCの必要性 環境の変化と安全管理の課題 2. ヒヤリハット、KY&TBM活動で不足カバーできない領域を補てん 3. 「事故・トラブルデータベース」活用 失敗から改善対策を学ぶ 4. 「4M4E分析」 ステップアップした見える化と本質的改善 5. 安全・改善活動の継続 課題解決に向き合い、PDCAを回す 6. フォローアップ&レビュー
実施日	12/12(火)・13(水) 9:30~16:20		
対象者	ものづくり製造現場に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	15名	受講料	6,000円(税込)
日数/時間	2日間/延12時間	場 所	千葉キャンパス
使用機器等	パソコン、プロジェクター等		

コース番号	C32	木材加工技術における問題解決法と品質の向上 (レッドアンドブルー)	建築系
ねらい	木材加工の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた木組み製作実習を通して、木工作の実践的知識及び技術を習得します。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 図面読解 2. 墨付け、仕口加工、表面仕上げ、組立 3. 木工機械の使用手法 4. 効率的な組み立て方法 5. 塗装
実施日	1/13(土)・14(日)・20(土) 9:00~16:00		
対象者	木工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	10名	受講料	17,500円(税込)
日数/時間	3日間/延18時間	場 所	千葉キャンパス
使用機器等	木工用工作機械		



コース番号	C49	技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)	管理系
ねらい	生産現場における指導技法の現場強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた現場改善における多種多様な技術及び後輩育成のための指導技法を習得します。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 技能伝承 (1)技能伝承の重要性 (2)部下・後輩指導育成の概要 2. 部下・後輩育成の進め方 (1)目的の提示 (2)現状把握・分析 (3)育成計画と育成 3. 育成担当者の行動 (1)育成担当者に求められる5つのスキル (2)個別カリキュラム設計 (3)指導のポイント(コミュニケーション、コーチング、支援的助言) 4. 総合演習 (1)部下指導育成の課題と育成計画の作成 5. まとめ
実施日	1/18(木)・19(金) 9:00~16:00		
対象者	品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	20名	受講料	9,000円(税込)
日数/時間	2日間/延12時間	場 所	千葉キャンパス
使用機器等	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙		



【12月～2024年2月】

ハートトレーニング
— 急がば学べ —

コース番号	N15	成功事例から学ぶ品質の維持と向上	管理系
ねらい	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得します。		
実施日	1/24(水)・25(木) 9:30～16:20		
対象者	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	15名	受講料	11,000円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	成田キャンパス
使用機器等	プロジェクター、パソコン、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、工作機械		

- 品質概論
 - 買手の要求に合った品質とは
 - 品質管理と品質改善
 - 設計品質・製造品質
 - 品質検査の方法と特徴
- 品質管理の取り組み
 - 定量的な分析と定性的な分析
 - 製造段階、開発設計段階、商品企画段階での質向上
 - 固有技術を踏まえた側からの品質管理のあり方
- 品質管理演習
 - モノづくりゲーム
 - 不具合要因の洗い出し
 - 品質向上策の検討
 - モノづくりのやりなおし
- 事例と演習から学ぶ品質向上
- まとめ

コース番号	C15	産業用ロボット活用技術	電気・電子系
ねらい	6軸多関節タイプの産業用ロボットのシステムについて操作方法、プログラミング、PLC連携、安全について実習を通じて習得します。		
実施日	1/25(木)・26(金) 9:30～16:20		
対象者	産業用多関節ロボットを利用する業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	6名	受講料	12,500円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	千葉キャンパス
使用機器等	三菱電機産業用ロボット（RV-2F-Dシリーズ）、PLC（三菱電機Qシリーズ）、タッチパネル等		

- 産業用ロボットシステムの概要
- 産業用ロボットシステムの操作方法
 - ティーチング実習
 - プログラミング実習
- CC-Linkによる産業用ロボットとPLCの連携
- 総合演習

※労働安全衛生法に基づき特別教育ではありません。

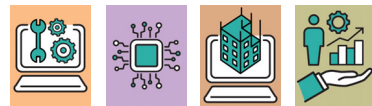
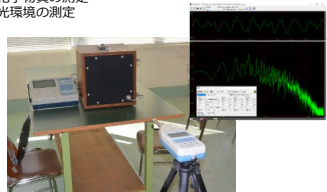


コース番号	C48	生産現場改善手法（現場力改善）	管理系
ねらい	生産現場の問題をどのように認識（発見）し、改善テーマを見つけていくのか、そして改善テーマに対してどのような改善行動を取ればよいのか、作業環境・作業・作業要員の3つの軸で現場を改善する手法を習得します。		
実施日	1/29(月)・30(火) 9:00～16:00		
対象者	工場管理、生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	20名	受講料	9,000円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	千葉キャンパス
使用機器等	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙		

- 生産現場の課題
 - 能率・材料・作り直しのムダ
 - 動きにくい・見にくい・判りにくい
 - 問題意識を持って作業現場を見ていない
- 生産現場の分析
 - 問題の定量化
 - レイアウト分析・導線分析
 - 作業要員分析
- 現場カイゼン
 - 改善ルールと使い方
 - 段取りカイゼン・作業カイゼン
 - 作業要員カイゼン（リーダーシップとコーチング）
- 現場の付加価値
 - 現場の付加価値を高めるメリット
 - 作業の付加価値・人の付加価値
- 総合演習

コース番号	C34	室内環境測定の実践技術	建築系
ねらい	室内環境の管理・コンサルタント業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
実施日	2/3(土)・17(土) 9:00～16:00		
対象者	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	10名	受講料	9,500円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	千葉キャンパス
使用機器等	パソコン		

- 住宅の性能表示制度の概要
- 音環境の性能評価
- 二酸化炭素の測定
- 化学物質の測定
- 光環境の測定



【12月～2024年2月】

ハートトレーニング
— 急がば学べ —

コース番号	C51	ヒューマンエラー対策実践（ポカミスのない職場作り）	管理系
ねらい	ヒューマンエラー発生メカニズムを理解し、エラーを発生させない仕組み作りと、エラー発生防止策の実践力を習得します。また、職場に展開し定着させる有効な手法を習得します。		
実施日	2/5(月)・6(火) 9:00～16:00		
対象者	生産管理部・製造現場部に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	20名	受講料	9,000円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	千葉キャンパス
使用機器等	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙		

- ヒューマンエラーとは
 - ヒューマンエラー発生メカニズム
 - 行動科学と心理的要因
- ヒューマンエラー防止策
 - 予防安全と発生時対応
 - 設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
 - 担当者の行動からヒューマンエラーの要因を排除する
 - 視覚効果を使う
- 現場での定着
 - 定着とは（わかる・動ける・守れる）
 - 間違った3大対策
 - 職場で事例を共有、全員で対策を検討
 - 現場パトロールと無事故シール
- 総合演習
 - 職場のヒューマンエラー対策と定着策の立案と実効策の策定

コース番号	C37-2	標準時間の設定と活用（効果的な原価低減活動につなげる）	管理系
ねらい	工程管理・技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた標準時間の理論、標準時間の構築手順、標準時間設定方法を習得します。		
実施日	2/26(月)・27(火) 9:30～16:20		
対象者	工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
定員	10名	受講料	9,500円 (税込)
日数/時間	2日間 / 延12時間	場所	千葉キャンパス
使用機器等	プロジェクター、パソコン		

- 標準時間の概要
- 標準時間の設定手法と知識
- 標準時間資料の作成
 - 統計時間資料の考え方、余裕率の設定
- 標準時間設定演習
 - 作業分解、時間測定、ビデオ分析
- 業務レベルに合わせた管理手法
 - 工数・原価管理での活用
- まとめ（講評・総括）



千葉キャンパス / TEL : 043-242-4192
成田キャンパス / TEL : 0476-22-4351

ポリテクカレッジ千葉 セミナー

検索

<https://www.3jeed.go.jp/chiba/college/company/ready/>



入校希望の方へ 令和6年度生募集のご案内

設置場所	科名	定員	選考方法	応募期間(必着)	試験日	合否通知
千葉キャンパス	電気エネルギー制御科	20名	学校推薦制	12/4(月)～12/19(火)	12/23(土)	12/27(水)
	電子情報技術科	25名				
	住居環境科	20名	自己推薦制	12/4(月)～12/19(火)	12/23(土)	12/27(水)
成田キャンパス	生産技術科	20名	一般入校選考	2/26(月)～3/8(金) ※定員に満たない科のみ募集	3/13(水)	3/15(金)
	航空機整備科	30名				



千葉キャンパス



成田キャンパス